



名取市市民活動支援センター

だより

11月号

2017 Vol.16

なとセンわくわくフェスタ開催

＊西松建設まちづくり基金 第4期まちづくり助成事業＊

2009年に名取市主催で始まったわくわくフェスタでしたが、2011年以降震災の影響で開催できませんでした。2015年、名取市市民活動支援センターの改築、リニューアルオープンを機に、登録団体が自ら集い、実行委員会方式での再開催を果たしました。2016年には西松建設まちづくり基金の助成を得て、約160名が参加する盛大なお祭りとなりました。今年度も同基金の助成を受け、新規登録団体が多数参加しパワーアップした楽しく、おもしろい企画が満載です。



2016年フェスタの様子



市民活動ってなんだろう？

来て！見て！体験！

なとセンってどこにあるの？市民活動って何？
パネル展示や活動発表、体験コーナーで楽しみながら市民活動を身近に感じることができます。
出展予定は19団体。親子体操や子どもの遊び場、傾聴カフェなど小さいお子さんからシルバー世代まで市民活動団体の日頃の活動を知ることのできるイベントが盛りだくさんです。

団体間で楽しく交流

実行委員会は11名。参加は自由で、回を重ねるごとにメンバーが増えています。自分たちの活動を多くの市民に知ってもらうために、年度当初から話し合いを重ね企画運営をすすめています。

団体間の交流や連携・情報交換も、わくわくフェスタの目的の一つです。

市民活動が活発な街 名取へ

わくわくフェスタは、なとセン登録団体だけでなく地域の福祉施設や企業・学校と一緒にイベントを開催することによって、回を重ねるごとに近隣の地域住民の皆さんにお集まりいただくようになりました。団体と市民が出会う機会となっています。

営利を目的とせず、社会のため、みんなのためになることに、自ら取り組んでいる、または取り組もうとしている市民や団体が“あつまる、つながる、ひろがる”それが、なとセンわくわくフェスタ実行委員会の願いです。

「みやぎソーシャルビジネス支援ネットワーク」創設

宮城県内における地域課題の解決、東日本大震災からの復興等に取り組んでいるNPO等へのサポートを充実させていくために、「みやぎソーシャルビジネス支援ネットワーク」が8月に創設されました。

宮城県をはじめ、仙台市、東北税理士会宮城県支部連合会、宮城県行政書士会、認定特定非営利活動法人杜の伝言板ゆるる、特定非営利活動法人せんだい・みやぎNPOセンター、株式会社日本政策金融公庫国民生活事業の7機関で構成されています。

「共助社会づくりシンポジウム in みやぎ」

9月16日(土)みやぎNPOプラザで、みやぎソーシャルビジネス支援ネットワーク創設及び創設記念シンポジウムが開催されました。特定非営利活動法人日本演劇情動療法協会・前田有作理事長と特定非営利活動法人ひよこ会・青野里美理事長から、それぞれの団体の活動実践が紹介されました。その後、東北大大学院経済学研究科・高浦康有准教授からソーシャルビジネスについて、海外・国内の事例が報告されました。

前田さんは、演劇を通して情動機能を活性化させることで認知症対策を行っており、今後、演劇情動療法を普及させるため、経費が掛かる演劇情動療法士の制度化とスタッフの養成を予定しています。

青野さんは、「自分の子供を良い保育園に入れたい!」との思いから、自分で保育園を作った事がキッカケで、現在では児童センター・障害児支援・就労支援と事業を拡大し、20施設、スタッフ170名と大所帯になったため、コンプライアンスや財務等での専門知識が必要になると話します。両者の発表からも支援ネットワークの活躍に期待が高まるところです。



「共助社会づくりシンポジウム in みやぎ」の様子

みなさんも専門家を活用できます!

①各種イベント等の開催、講師派遣

ソーシャルビジネスやコミュニティビジネスを運営するNPO等向けのセミナーやワンストップ相談会等を行います。各種イベント等を開催する際には、ネットワーク構成機関の各種取り組みや業務内容等について周知するとともに、講師の派遣についても相互に協力を行います。

②NPO等からの相談への対応

NPO等から、専門的な分野について相談したいとの希望があった場合、相互に担当者を紹介し合う等必要な協力を行います。

③情報交換会の開催

ネットワーク構成機関の担当者が集まる情報交換会を定期的を開催し、地域動向や地域課題等について情報交換を行います。

問合せ 日本政策金融公庫 南東北地区統轄室
東北広域営業推進室 松宮 俊隆
〒980-8452 仙台市青葉区中央1-6-35
電話 022-222-5339
E-mail matsumiya-t@jfc.go.jp

なとセン登録団体活動紹介

NPO 法人東日本カウンセリングセンター

心に寄り添うために・・・

団体設立メンバーだった五十嵐豊子さんが、カウンセリングを学び始めたのは、自身の子育てで壁にぶつかった事がきっかけでした。当時、仙台には学ぶ場所がなかったため、あらゆる所に学びを求めました。

平成6年、学んできたカウンセリングで起業し宮城県児童相談所の電話相談員や、当時スクールカウンセラーが各学校に導入されていなかった時代に、私立明成高等学校の校長先生にカウンセラー導入の必要性を話し、カウンセラーとして子ども達の心に寄り添ってきました。

一方、カウンセリングルームでは「この子を何とかしてください!」と悩んでいる親に接しながら、もっと多くの家庭を笑顔にする関わりが必要だと実感します。有志で作ったカウンセリング研究所とカウンセリングルームを運営しながら、著書「笑顔塾」を出版し、日常生活に有効なカウンセリングスキル活用方法を発信してきました。

五十嵐さんの学派や心理療法を偏らずに使いこなすカウンセリング臨床スキルは、2000件を超える相談数から培われたと言えます。

震災と共に

講座の受講者からもっと実践カウンセリングを学びたいという声にこたえて平成15年にNPO法人を設立します。NPO法人の活動として、マイクロカウンセリングの第一人者でもある立正大学心理学教授指導のもと20年間にわたり本格的なプロカウンセラー養成講座を開講しました。講座の受講生は深く心を学び、ぶれない自分軸を身につけ日常生活に活かします。認定試験合格者は、法人でカウンセリング業務を担当し経験を積んでいたところに東日本大震災が発生しました。

震災後も法人発足記念イベントは毎年行われ、今年14年目の記念イベントを「名取の心の復興」をテーマに、名取市長、副市長、被災者の方々（愛

島仮設での体験、あすと長町での体験）で生活の中にある様々な課題を話し合いました。

社会的課題への取り組み

復興支援も視野に入れながら、気仙沼市、名取市、仙台市で活動し、次代を担う子供の成長や親子の絆づくり、仕事で活かせるコミュニケーション力を磨く講座を継続的に開催しています。

近年では企業におけるストレス問題が増え続けブラック企業であるとか、電通で女子社員の自殺、NHKでも過労死していたという事が取り上げられています。世界でも「Karôshi」で通じる程です。

東日本カウンセリングセンターは、厚生労働省より、メンタルヘルス相談の専門機関（基安労発第0619001号）として認定されており、省庁・各企業からの依頼を受けメンタルヘルス講座を開き、生活の中に幸せをみつけることのできる能力の開発支援と、普通の人をより精神的に解放し向上させるカウンセリングを目指しています。

今後とも新しい企画と共に必要な所に必要な事を提案実施していくカウンセラー集団であり続けたいと語ります。

五十嵐豊子さん



問合せ NPO 法人東日本カウンセリングセンター
〒980-0021 仙台市青葉区中央3丁目5-14
電話 022-211-9234 FAX 022-211-9270
E-mail mailto@npo-ejcc.org

なとセン information

市民活動講座「思いをカタチにする企画力センスを学ぶ」

自分たちの街を住みやすく、面白くする種を植え、育てるチカラをみがく市民活動講座。今回は「面白いことを見つけるチカラ」や「つなげて生み出すチカラ」、「企画を見せるチカラ」を学び個々や団体の企画力向上を目指します。

- 講師 千葉 富士男 氏
(一般社団法人みやぎ連携復興センター事務局長)
- 宮城県仙台市生まれ。東日本大震災後、仙台市・東北の復興と交流施設・東北ろっけんパークを立ち上げ、仙台の中心部商店街の活性化活動の企画運営に関わる。

- 開催日 12月2日(土)
- 時間 13:30~16:00
- 会場 名取市市民活動支援センター
- 参加費 無料
- 問合せ 名取市市民活動支援センター ☎022-382-0829

教えて！市民活動 専門相談会 相談者募集中

名取市にお住まい、または、名取市内で市民活動を始めたい方や既に活動しているみなさまを対象に相談会を実施しています。お気軽にご相談ください。

日程に関しましてはご相談に応じますので、まずは支援センターまでご連絡ください。

問合せ 名取市市民活動支援センター
☎022-382-0829

- 開催日 11月16日(木)
- 時間 13:30~14:30
14:45~15:45
16:00~17:00
- 会場 名取市市民活動支援センター
- 定員 3団体(個人でも可)
- 相談料 無料

登録団体情報・参加者募集

NPO 法人薬用植物普及協会みやぎ 「薬用植物の国内栽培の現状と展望」

皆様が服用する漢方薬原料の薬用植物は、80%~90%輸入に頼っています。国内生産は衰退著しく、危機的状況です。しかし、その復活を目指して農林水産省は、薬用作物の産地化プロジェクトを2年程前から始めました。品質の良い原料薬用植物栽培の国内事情と今後を語ります。

- 開催日 12月2日(土) 10:30~12:00
- 会場 宮城県薬用植物園 研修室
- 参加費 200円(資料代)
- 問合せ 電話・FAX 022-384-7722
- 講師 NPO 法人薬用植物普及協会みやぎ
理事長 草野 源次郎

リバイブ名取21・尚絅学院大学ピカボード愛好会 「光のストリートアート展」

増田防災広場や名取駅自由通路に8組16枚のピカボードを設置し、歳末の名取市増田地区を彩ります。設置するピカボードは、増田小学校北町地区子供会や尚絅学院大学の学生らが作成します。「SNSに投稿して、賞品を当てよう！」も実施します。

- 開催日 12月6日(水)~1月3日(水)
- 時間 16:30~24:30
- 会場 増田防災広場・名取駅自由通路
- 問合せ ☎090-3127-1461(渡辺)

発行日：平成29年11月1日

発行：名取市市民活動支援センター

発行部数：1,000部

編集：特定非営利活動法人 パートナシップなとり

問合せ先：〒981-1232 宮城県名取市大手町5丁目6-1

TEL:022-382-0829 FAX:022-382-0841

E-mail: npo@natori-npocenter.or.jp

HP: <http://www.natori-npocenter.or.jp>

Blog: <http://blog.canpan.info/natori>

